

BTMU CHINA WEEKLY

発行：三菱東京UFJ銀行 国際業務部 海外業務支援室

編集：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 海外アドバイザリー事業部 中国グループ 情報開発チーム

トピックス:「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法・実施細則」公布

2009年7月1日付けで、中国人民銀行・財政部・商務部・税関総署・税務総局・銀監会が連名で、「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法」(以下、「管理弁法」と略称)を公布致しました。また、7月3日には、中国人民銀行より「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法実施細則」(以下、「実施細則」と略称)が公布され、同日実施となっております。管理弁法・実施細則のポイントと日本語仮訳をご案内致します。

「クロスボーダー貿易人民元決済試行」とは、パイロット企業として指定された中国域内のパイロット地区所在の企業と香港・マカオ等指定された中国域外の企業との間の貿易決済を直接、人民元で行うことが可能となったものです。

なお、弊行は、7月6日に中国銀行上海市分行と「人民元決済契約」を締結済みであり、人民元貿易決済業務参入第一陣として、香港支店・九龍支店に於ける対応を準備中です。

今回の通知の概要は以下の通りです。

(1)パイロット地区

中国域内:上海市および広東省の4都市(広州・深圳・珠海・東莞)

中国域外:香港・マカオ・アセアン諸国

(2)対象企業

域内企業:パイロット地区に所在する指定されたパイロット企業(認可必要)

域外企業:域内パイロット企業と貿易取引のある対象地域所在企業

(3)人民元クロスボーダー収支情報管理システム

中国人民銀行は、人民元クロスボーダー収支情報管理システムを確立し、パイロット企業と人民元クロスボーダー貿易決済に関する各種情報を都度収集し、保存する。また、当該情報の統計・分析・モニタリングを行う。域内セトルメント銀行と域内エージェント銀行が、当該システムを用いて人民元クロスボーダー収支情報を報告・送付する。

(4)輸出税還付

人民元による貿易決済の場合も税還付の対象取引となる。国務院税務主管部門が詳細な管理規定を制定する。

(5)外貨核銷

人民元決済については外貨核銷管理の対象外。輸出税還付時に核銷単の提出は不要。域内セトルメント銀行が税務部門の要求に基づいて、パイロット企業の人民元決済関連データ・資料を提供する。

(6)台帳制度

パイロット企業は、クロスボーダー貿易人民元決済の貿易の真実性を確保するため、輸出入通関情報と人民元資金収支の情報を台帳に正確に記録する。

(7)国際収支統計申告手続

クロスボーダー貿易人民元決済において発生する国際収支取引については、関係規定に基づき国際収支統計申告手続を行う。

(8)外債管理

人民元クロスボーダー貿易に関わるパイロット企業の域外対象企業に対する負債に関しては、外債登記が必要となるが、外債管理には組み入れない。

(9)輸出代金の回収

人民元クロスボーダー貿易の輸出において、輸出から210日経過しても人民元を回収していない場合は、域内セトルメント銀行を通じて、5営業日以内に未回収貨物代金金額と対応する報関単番号を人民元クロスボーダー収支情報管理システムに報告するとともに、域内セトルメント銀行に関連資料を提出する。

(10)輸出代金の海外存置

パイロット企業が域外に輸出代金を存置したい場合、域内セトルメント銀行を通じて、中国人民銀行分支機構に申請し、人民元域外預金残高や口座開設銀行、口座情報、資金使途、報関単番号を人民元クロスボーダー収支情報管理システムに報告する。

(11)前受け、前払いの管理

パイロット企業の前受け、前払いの人民元資金については、比例管理を実行する。具体的な管理方法は中国人民銀行のそれぞれの分支機構が制定する。パイロット企業の前受け、前払いの人民元資金が契約金額の25%を超過する場合、その域内セトルメント銀行に貿易契約書を提出し、域内セトルメント銀行は当該契約書の基本事項を人民元クロスボーダー収支情報管理システムに報告する。

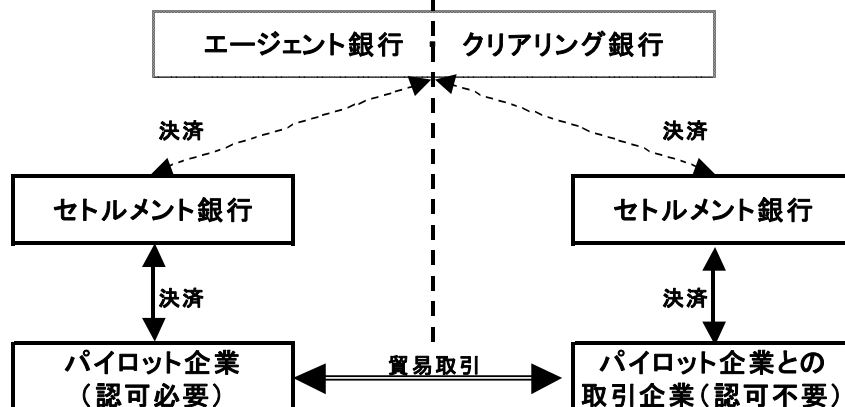
(12)来料加工貿易の管理

パイロット企業が来料加工貿易項目下において、契約金額の30%を超える人民元資金を受け取る場合、受け取った日から10営業日以内に域内セトルメント銀行に関連エビデンスを提出する。

※なお、上記規定に関する実務上の取り扱いについては関連当局へ詳細を確認する必要があります。

【人民元決済試行スキーム】

域内(上海市及び広東省4都市) ←→ 域外(香港・マカオ・アセアン諸国)



<関連規定の日本語仮訳>

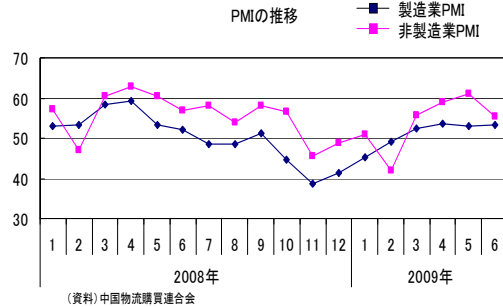
- ・「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法」(中国人民銀行・財政部・商務部・税関総署・国家税務総局・中国銀行業監督管理委員会公告[2009]第10号)
→ <http://www.bk.mufg.jp/report/chi200403/309070801.pdf>
- ・「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法」の関係問題についての記者質疑応答
→ <http://www.bk.mufg.jp/report/chi200403/309070802.pdf>
- ・「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法実施細則」(銀発[2009]212号)
→ <http://www.bk.mufg.jp/report/chi200403/309070803.pdf>

CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆6月のPMI指数 小幅上昇の53.2:中国物流購買連合会の発表によると、6月の中国製造業購買担当者指数(PMI)は前月比0.1ポイント改善して53.2となった。4ヶ月連続で景気拡大と縮小の分岐点となる50を超え、製造業は穏やかに回復に向かっているとしている。PMI構成指数のうち、上昇が顕著だったのは、購買価格指数の+4.7ポイント、新規輸出受注指数の+1.3ポイント、原材料在庫指数の+1.3ポイント。また、業種別では金属精錬、電気機械、通信設備等14業種が50を上回った一方、汎用設備、アパレル等6業種が50を下回った。なお、非製造業は前月比5.5ポイント減少したものの、55.4ポイントと製造業に比べ高水準を維持している。



(資料)中国物流購買連合会

【貿易・投資】

◆台湾 中国大陸企業の対台投資の一部解禁:台湾經濟部は6月30日、中国大陸企業による台湾投資を開放する「大陸地区人民 來台投資の許可弁法」等2つの法令を公布、即日実施した。今回の開放分野は、自動車、携帯電話等の製造業64項目、物流、卸・小売等のサービス業117項目、公共建設11項目の合計192項目に上るが、注目されていた半導体チップのファウンドリや、液晶パネル等の産業は開放されていない。台湾企業による対中投資は1991年に台湾政府が解禁してから急増する一方、中国大陸企業による対台投資は台湾側が禁じていた為、中台間の資金移動、資源配分に不均衡が生じていた。こうした状況の改善や、台湾経済の活性化を目指して、昨年7月から台湾当局は中国大陸企業に対する投資開放の準備を進めてきた。なお、中国大陸企業による投資はすべて台湾經濟部の許可取得が必要とされている。また、投資分野は今後段階的に開放していく方針という。

【金融・為替】

◆3月末の外債残高 前年末比10.1%減少:国家外貨管理局が1日に発表した外債統計によると、2009年3月末時点の外債残高は3,367.21億米ドルと昨年末比▲10.1%減少した。うち、中長期外債は同▲0.4%の1,633億米ドル、短期外債は同▲17.7%の1,735億米ドルで、外債残高に占める割合はそれぞれ48.5%、51.5%となった。短期外債比率は、昨年9月末の63.4%から、12月末には56.3%、本年3月末には51.5%と3期連続で低下しており、世界的な金融危機による貿易量の落ち込みに伴い、輸出前受や輸入延払等の貿易融資が縮小したこと、人民元切上げ期待が後退し投機的資金の流入が鈍化したこと等が主な要因と見られている。但し、中国の短期外債比率は、国際的な安全基準の25%を大きく上回り、依然高い水準が続いている。

◆商務部 外資企業による国内市場上場を奨励する方針を発表:商務部の副部長は2日、第13回中国国際投資貿易商談会の記者会見で、今後、関連部門と共同で外資企業による国内市場上場に関する政策の研究を進め、外資企業の国内上場を奨励していく方針を明らかにした。金融危機の影響を受け、昨年10月以来落ち込んでいるFDI(対内直接投資)の安定的な拡大を目指すためとし、近く具体策を公布する予定という。中国における外資企業の上場はこれまでも認められてきたが、中外合弁企業に限られており、今後は、外資独資企業にも拡大されることが期待されている。

人民元の動き

日付	USD			JPY (100JPY)			HKD	EUR			金利 (1wk)	上海A株 指数	前日比
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比		前日比	Close	前日比			
2009.6.29	6.8330	6.8328~6.8355	6.8338	0.0000	7.1546	0.0291	0.8817	-0.0001	9.5686	-0.0195	1.2000	3123.47	49.42
2009.6.30	6.8340	6.8301~6.8340	6.8307	-0.0031	7.1455	-0.0091	0.8813	-0.0003	9.6227	0.0541	1.5000	3106.59	-16.88
2009.7.01	6.8318	6.8310~6.8334	6.8331	0.0024	7.0577	-0.0878	0.8816	0.0003	9.6141	-0.0086	1.2500	3157.77	51.18
2009.7.02	6.8325	6.8310~6.8328	6.8314	-0.0017	7.0685	0.0108	0.8814	-0.0002	9.6272	0.0131	1.3500	3212.59	54.82
2009.7.03	6.8333	6.8319~6.8335	6.8323	0.0009	7.1260	7.1260	0.8816	0.0001	9.5678	-0.0594	1.2440	3242.10	29.51

RMB レビュー&アウトルック

今週の人民元は、週初中銀基準値が小幅人民元高に設定されたものの、市中取引値は前週末とほぼ同水準となる6.8330での寄り付きとなった。中国物流購買連合会が発表した6月の中国購買担当者景気指数(PMI)が53.2と景気判断の分かれ目となる50を4ヶ月連続で上回り、製造部門の回復が確認されたこともあり、上海総合株価指数は2008年6月以来となる3000を超えるなど堅調に推移したものの、為替市場では6.8300丁度近辺では警戒感も台頭したことから上値も限られ、結局、前週末までの展開同様小幅な値動きに終始し越週した。輸出産業の回復が確認されない中では、人民元相場の安定を維持するという中銀意向が意識される為、当面の人民元相場は引き続き小幅な値動きが予想される。しかし、国際市場での人民元の存在感がますます高まるなか、今後中長期的に見た人民元の先高圧力が復活する可能性には注意が必要だろう。(7月3日作成)

(市場営業部 為替営業推進グループ グローバル営業ライン)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。